

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	インターナショナルアンジェリカ下目黒6丁目保育園
施設所在地	東京都目黒区下目黒6-15-18
法人名	株式会社WITH

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・友だちと力を出し合う遊びを通して、勝ち負けや気持ちの揺れを経験しながら力の出し方やかわり方を学ぶ。
- ・友だちと相談しながら巧技台を組み、自分たちのイメージを形にすることを楽しむ。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
力試し系の動きを行い、力を出す以外にもこれまでの活動で培ってきたものを発揮し、試していく事が出来るようにするため。
自分たちで作った環境に責任を持つとともに、自信を持って行動することが出来るようにするため。

2. 活動スケジュール

挨拶後、自由遊び、動機づけ遊び、課題遊びの順で行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
巧技台、はしご、滑り台、丸形はしご、バー、マット、斜面板、ビーム、めんこ、ホース、綱

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

活動前に子どもたちだけで環境設定を行う。その後、講師と一緒に点検を行い、用具の使い方を学ぶとともに、危険予測を行う。プレイゾーン以外にはホース引きやタオル引きをチャレンジゾーンで設定し、反対側ではメンコを行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

自分たちで環境設定を行う際には色々な用具を自分たちで組み合わせ、意欲的に取り組む姿が見られた。その後、講師と一緒に点検を行うと、自分たちが設定した環境の中で危険があることを知り、用具の使い方に理解を深めていた。メンコのゾーンでは初めは力加減や仕方が分からず、戸惑う姿があったが、講師の動機づけ遊びを通して、熱中して取り組むようになり、最後は全部めくることが出来た。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

力試し系の動きはただ力を出すだけでなく、今までの活動で培ってきたものを発揮する、試していく為の運動である。綱引きなどは転ぶとすぐに立たないと踏まれるなど、これまでの経験での積み重ねや耐性が必要な上に、子ども同士の関係性を築いてから行うべきものな為、後期で力試し系の動きを行ったということが分かった。自分たちで環境を作る活動では自分たちで考える楽しさを味わうことや環境に責任を持ち取り組めるようにすることが大切だが、子どもだけでは気付くことのできない危険=ハザードを大人が点検する際に伝えていくことも必要である。